

アビスパ福岡株式会社について

平成 27 年 6 月

目 次

I	法人の概要	1
	1 法人の概要		
	2 組織		
II	事業報告	2
III	平成 26 年度決算	3
	1 損益計算書		
	2 株主資本等変動計算書		
	3 貸借対照表		
IV	事業計画（方針）	5

I 法人の概要

1 法人の概要

(1) 法人名 アビスパ福岡株式会社

(2) 主要な事業

サッカーの興業，サッカースクールの運営ならびにサッカー指導者の育成およびプロサッカーチームに関する各種オリジナルグッズの販売。

(3) 設 立 平成6年9月29日

(4) 資本金 176,110千円

(5) 本市出資の目的

Jリーグの地域に根ざしたホームタウン制により，本市のスポーツ文化の振興，青少年の育成並びに地域経済の活性化を目的として出資。

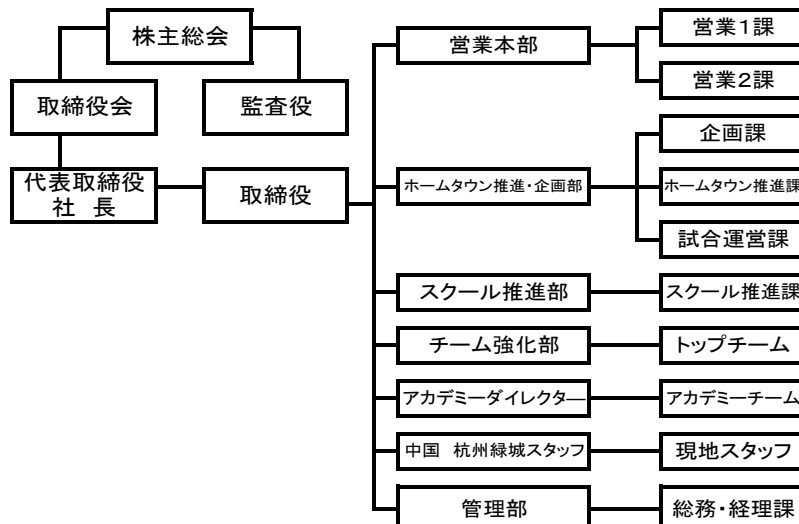
2 組織

(1) 役員名簿

(平成27年6月1日現在)

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	川 森 敬 史	
取 締 役	野 見 山 篤	
取 締 役	吉 尾 春 樹	株式会社システムソフト代表取締役執行役員社長
取 締 役	古 賀 靖 教	コカ・コーラウエスト株式会社 取締役 常務執行役員 管理統括部長
取 締 役	井 上 る み	福岡市 市民局長
取 締 役	荒 牧 智 之	九州電力株式会社 取締役 常務執行役員
取 締 役	早 川 元 久	株式会社西日本新聞社取締役 社長室長兼 経営企画局長 兼グループ経営委員長
取 締 役	武 井 秀 樹	株式会社九電工 取締役 上席執行役員 営業本部副本部長
取 締 役	川 原 武 浩	株式会社ふくや 取締役 統括部長
監 査 役	萬 田 昭 彦	株式会社福岡銀行 総務広報部長
監 査 役	開 地 龍太郎	株式会社西日本シティ銀行 執行役員 総務部部長

(2) 組織図



II 事業報告（平成26年2月1日から平成27年1月31日まで）

広告収入につきましては、大ロスポンサーの減額の影響を受けたものの、ユニフォームスポンサー（背中・パンツ）の新規契約を行い、前年より増収となりました。

入場料収入につきましては、1試合当たりの平均入場者数は前年の5,727人から5,062人と減少したものの、席種単価の見直しにより、前年より増収となりました。

今期は、クラブライセンス交付のため、黒字化と債務超過解消が至上命題であり、その解決に向けて、営業費用を削減する計画でスタートしました。しかしながら、広告収入が予算を下回ったため、6月のクラブライセンス申請時には、黒字化は確実なもの、債務超過解消については不透明な状況に陥りました。9月に1億円の第三者割当増資を行い、これにより、9月に2015シーズンのライセンス交付を受けることができましたことをご報告申し上げます。

チームにつきましては、J1プレーオフ圏内の順位を目標に臨みましたが、夏場より失速し、J1昇格争いに加われないまま、最終成績16位と皆様の期待を裏切るシーズンとなりました。また、マリヤン・プシュニク監督は今期限りでの退団となりました。

一方では、U-22の日本代表および候補に2名が選出されるなど、若手育成の点で明るい材料もありました。

アカデミー（育成）部門については、トップチームへの昇格1名、年代別の日本代表および候補に3名が選出されるなど、ある程度の成果があったシーズンと言えます。また、中国の杭州绿城倶楽部と業務提携を行い、コーチを4名派遣したことで、収入増につながりました。

ホームタウン推進活動につきましては、アビスパ福岡サッカースクールの堅実な運営をベースに、コーチ派遣型の「アビススクール」のほか、ブラインドサッカー啓発活動に取り組み、当クラブの経営理念である「子供たちに夢と感動を」「地域に誇りと活力を」は実践できました。

こうした活動により、今年度の売上高は、入場料収入1億9千1百万円（対前年比7%増）、広告収入3億3千4百万円（対前年比3%増）、その他の収入を加えまして、9億4千7百万円（対前年比9%増）となりました。営業費用は、9億4千2百万円（対前年比3%減）となり、営業利益は5百万円、経常利益は1千2百万円、当期純利益9百万円となりました。

III 平成 26 年度決算（平成 26 年 2 月 1 日から平成 27 年 1 月 31 日まで）

1 損益計算書（平成 26 年 2 月 1 日から平成 27 年 1 月 31 日まで）

（単位 千円）

科 目	金 額	
売 上 高		947,386
売 上 原 価		727,585
売 上 総 利 益		219,800
販売費及び一般管理費		214,590
営業利益		5,209
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	8	
その他の営業外収益	13,104	13,113
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	4,611	
その他の営業外費用	482	
支 度 金 償 却	643	
雑 損	122	5,860
経 常 利 益		12,462
税引前当期純利益		12,462
法人税、住民税及び事業税		3,030
当 期 純 利 益		9,431

2 株主資本等変動計算書（平成 26 年 2 月 1 日から平成 27 年 1 月 31 日まで）

（単位 千円）

	株 主 資 本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
前期末残高	125,990	35,000	161,044	△ 349,886	△27,851	△27,851
当期変動額						
新株の発行	50,120	50,120			100,240	100,240
当期純利益				9,431	9,431	9,431
当期変動額合計	50,120	50,120		9,431	109,671	109,671
当期末残高	176,110	85,120	161,044	△340,454	81,820	81,820

3 貸借対照表（平成27年1月31日現在）

（単位 千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	136,825	流動負債	267,592
現金預金	107,640	短期借入金	100,000
売掛金	8,904	一年内返済予定長期借入金	10,375
商品	11,958	未払金	28,443
貯蔵品	866	割賦未払金	14,824
未収入金	1,862	未払法人税等	3,934
前払費用	4,907	前受収益	97,031
未収消費税	685	預り金	7,883
		賞与引当金	5,100
固定資産	251,868	固定負債	39,281
有形固定資産	248,381	長期借入金	31,625
建物	195,635	長期割賦未払金	5,051
建物附属設備	71,678	預り保証金	2,605
構築物	55,830		
工具器具備品	51,445	負債合計	306,873
土地	100,000		
減価償却累計額	△226,207	（純資産の部）	
投資その他の資産	3,486	株主資本	81,820
長期前払費用	2,275	資本金	176,110
その他の投資	1,211	資本剰余金	
		資本準備金	85,120
		その他資本剰余金	161,044
		利益剰余金	
		その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	△ 340,454
		純資産合計	81,820
資産合計	388,693	負債及び純資産合計	388,693

IV 事業計画（方針）

アビスパ福岡は今年でクラブ創設 20 周年を迎えます。

いつまでも子どもたちに夢と感動を、地域に誇りと活力を与えられる市民クラブ「アビスパ福岡」として、経営基盤の強化と安定化を重要方針としています。

今期は、新たなファンの獲得と既存顧客の満足度向上のため、レベルファイブスタジアムで開催するイベント等の充実をはかり、レベルファイブスタジアム 1 万人プロジェクトに取り組みつつ、事業計画数値の達成に努めます。

また、入場料収入および広告収入の増加は不可欠と考えておりますので、営業体制とプロモーションを強化すると共に、スポンサー1000 社を目指し、全力で取り組んでまいります。

なお、若手や地元出身選手の育成のため、トップチームとアカデミーのさらなる連携を強化しながら、アカデミーからプロ選手の輩出を目指します。

ホームタウン事業も継続し、アビスパ福岡が真の市民クラブとして、多くの人々に愛され、地域の誇りとなるよう、今後も活動してまいります。

以上